

令和元年度 森林環境譲与税に関する決算状況

事業区分	事業名	事業総額 (千円)			事業内容	実績	税導入の効果
		(A)+(B)+(C)	(A) 当該年度の森 林環境譲与税	(B) 過年度分の 基金取崩額			
森林保護対策	地域産業資源 創出事業	1,344	1,344	—	0	<p>今後、私有林において、12歳級を超えるカラマツ林等の人工林皆伐、再造林が進む見込みである。植栽樹種として、キハダ等の広葉樹が選択肢としてあがっている。再造林後、幼齢木のノネズミ等による食害が想定されることから、苗木を保護するために適切な植生保護資材を明らかにする。</p> <p>既往植栽地（広葉樹）において、植生保護管の支柱を中空FRPポールに変更（1,800組）し、風等に対する耐性のモニタリングを行った。今後もモニタリングを継続する。</p>	<p>税活用により、再造林の際の不成績造林地発生を防ぐため、食害対策技術の確立に向けて試験をスタートさせた。</p> <p>【詳細】 本市では、漢方薬の原料としての利用が見込まれる薬木のキハダとホオノキを新たな地域産業資源として位置づけ、市有林において植栽を進めている。私有林所有者からは、人工針葉樹林の皆伐を望む声が増えており、伐採跡地に薬木の植栽を希望する声がある。私有林において、キハダ等の広葉樹植栽の拡大が見込まれることから、豪雪地である当地に適した鳥獣被害対策の確立を図る。</p>
基金積立 (森林整備等)	夕張市 森林環境譲与税 基金積立	1,112	1,112	—	0	<p>今後増大すると考えられる、私有林における再造林に際しての課題等に対応するために備えた積立。</p> <p>積み立てた基金は、令和2年度に実施する森林保護対策確立に向けた試験に使用するほか、意向調査(対象者200名程度)の実施費用に充てる予定。</p>	